

令和3年第4回（6月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>◎ 佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現に向けて 【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた「新しい生活様式」について</p> <p>① 佐渡市の財政状況と令和3年度の補正予算による反転攻勢</p> <p>② ワクチン接種の計画とスケジュール</p> <p>③ 集団免疫の獲得によるおもてなしの観光振興、産業振興策</p> <p>(2) 持続可能な地域づくりについて</p> <p>① 22の小学校区単位で実行する地域の情報化（地域おこし協力隊の招聘等）</p> <p>② 観光地域づくり推進のための入島税・宿泊税・協力金等の可能性</p> <p>③ 地域循環共生圏づくりと環境省の一部を佐渡へ誘致という提案</p> <p>(3) 子育てしやすい島づくりについて</p> <p>① シラク3原則を佐渡で実現する方法</p> <p>② 出産成長祝金と奨学金制度の持続可能性</p> <p>③ 佐渡市子ども未来応援基金の活用と佐渡市若者未来応援基金（仮称）の設立提案</p>	室岡啓史
2	<p>1 日本と世界の新型コロナウイルス感染状況を見れば、東京オリンピック・パラリンピックは延期、中止と考えるがどうか（都内の幼稚園から高校まで子ども90万人を動員する五輪観戦）</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>○ ワクチン接種を希望者が混乱なく受けられるような情報提供と体制整備について</p> <p>① 接種にかかわる情報が市民に周知されているか（目的、接種順、会場、予約方法など）</p> <p>② 予約にかかる困難（電話の混雑、ネット予約ができない人など）への対応はどうか</p> <p>③ 集団接種会場や個別接種会場に行くための交通手段の確保と往診が必要な人への手立てと人員確保は図られているか（接種会場まで行けない高齢者への対応はされているのか）</p> <p>④ 高齢者に接する訪問介護員（ホームヘルパー）などにも早期にワクチン接種が必要ではないか</p> <p>⑤ 64歳以下への接種計画について</p> <p>⑥ 新潟県の「PCR検査重点実施事業（検査キット配付支援事業）」に対する佐渡市の対応について</p> <p>3 シニアカーの購入助成について 高齢者が外出する際の利便を図り、自立した生活を営むことができることを目的とするシニアカーの購入助成を求める</p>	中村良夫
3	<p>1 佐渡市総合計画について</p> <p>(1) 佐渡市総合計画の進捗状況と今後の進め方について</p> <p>(2) 市民アンケート調査をどのように活用するか アンケート調査をもとに、市民、事業者への聞き取り等を補強して、市民の意見を取り入れた計画にすべき</p> <p>(3) 「第3次佐渡市男女共同参画」は総合計画ではどのような位置づけか</p> <p>① 男女共同参画の具体的な取組は今後どのように進めていくか</p> <p>② 男女共同参画の取組強化で、Uターン・Iターン増加により人口減少を緩やかにできないか</p> <p>(4) 「佐渡市産業連関表作成及び地域経済構造分析業務」は佐渡市総合計画策定において有用な資料と推察するが活用しないのか</p> <p>2 市民の負担軽減につながる「お悔みコーナー」の新設について</p> <p>○ 佐渡市においても平均寿命が高くなり、死亡時の年齢が高齢になったことで、介護</p>	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>や年金などの手続の数が増えて遺族は負担を強いられている。死亡・相続ワンストップサービスを推進し、市民と市役所窓口担当者の負担軽減が図れないか</p> <p>① 遺族にとって死亡や相続に関する手続は、生涯で繰り返し発生するものではないため、慣れていない。慣れない手続について、手続の漏れや必要書類の不備によって手続を何度も何度も繰り返す負担が生じている。佐渡市における死亡後の行政手続は何種類あるか</p> <p>② 政府C I Oポータルで「お悔みコーナー設置ガイドライン、設置自治体支援ナビ」が提供されているが、佐渡市が提供しているツールを使い市民サービスの向上が図れないか</p> <p>③ 新庁舎におけるワンストップサービス窓口について、どの程度検討されているか。また、現在行われている行政手続のワンストップサービスの取組方針を問う</p> <p>3 凍霜害の対応について</p> <p>○ 4月10日、11日からの遅霜に引き続き4月15日の凍霜害により、市内のおけさ柿をはじめとした果樹に大きな被害が発生した。生産者の経営継続をあきらめさせないために、佐渡市としての今後の対応を問う</p> <p>① 霜・低温被害により短期的に果実販売収入が得られないにもかかわらず、防除費用をはじめとした肥培管理費が必要だが市としての対応を問う</p> <p>② 凍霜害は近年では2016年にも発生し、被害樹回復には3年以上の年数を要している。数年毎に発生する凍霜害に対応するには、防霜ファン等の機械設備が必要だが市としての対応を問う</p> <p>③ おけさ柿生産者の高齢化等により耕作放棄地が発生している。農地中間管理機構の活用等による樹園地等の円滑な継承について、農業者や生産者団体との調整役として市の対応を問う</p>	佐藤 定
4	<p>1 G I G Aスクール構想について</p> <p>(1) 1人1台のタブレット端末の利用状況はどうなっているか</p> <p>(2) タブレット端末が故障した際の対応等、保護者への説明はどうなっているか</p> <p>(3) 佐渡市G I G Aスクール構想を計画すべきと考えるがどうか</p> <p>(4) 体育館や特別教室にもネットワーク環境を整備すべきと考えるがどうか</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 子育てパンフレットの作成が必要と考えるがどうか</p> <p>(2) 子育て応援アプリの開発について</p> <p>(3) 移住交流推進課との連携はどうなっているか</p> <p>(4) 子育て支援センターの利用について</p> <p>① 佐和田子育て支援センターが整備され一年たつが利用状況と課題は何か</p> <p>② 利用対象者を未就学児に限定しないで、誰でも利用できるようにすべきと考えるがどうか</p> <p>(5) アウトリーチ型の支援の充実について</p> <p>(6) 高校生向けの子育て授業をすべきと考えるがどうか</p> <p>(7) 教育委員会との連携について</p> <p>3 ウッドショックについて</p> <p>(1) ウッドショックによる今後佐渡市が関係する工事の建築費をどのように予想しているか</p> <p>(2) ウッドショックを機会に佐渡産材を有効に利用すべきと考えるがどうか</p>	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>1 地域社会における経営や生活の維持について</p> <p>(1) 地元企業の厳しい現状をどう捉えているか</p> <p>① コロナの影響の実態調査と廃業等について</p> <p>② 今まで実施してきた施策の実績と評価</p> <p>③ 再スタートへの秘策はあるか</p> <p>(2) ワクチン接種と医療体制について</p> <p>① 接種の迅速化に向けて市民が協力できるものは何か</p> <p>② コロナ禍による受診者減が医療体制に及ぼすものは</p> <p>③ 医療従事者確保策について</p> <p>④ 離島振興法と医療について市長の考え方は</p> <p>(3) コロナ禍中の社会福祉と高齢福祉</p> <p>① 生活弱者への対応に手落ちはないか</p> <p>② 人材確保と在宅介護の拡充が必要でないか</p> <p>③ 民間法人への支援と育成について</p> <p>④ 地域包括ケアが目指す姿に近づいているか</p> <p>2 少子化対策と教育支援について</p> <p>(1) 経済的支援と子育て世代が求めるものは</p> <p>① タウンミーティングでの意見と対応は</p> <p>② 地域社会と子育て</p> <p>(2) 婚姻数と出産数増加への根本的な取組について</p> <p>① 婚姻数が伸びない理由とその解消策は</p> <p>② 家庭を持つという人生観は育まれているか</p> <p>③ 子宝に恵まれないカップルへの支援策</p> <p>(3) 奨学金とU・Iターン支援について</p> <p>① 教育文化振興基金と地域振興基金及び堀口基金活用の実績は</p> <p>② 新規U・Iターン支援制度について</p> <p>③ 学校や地域活動から郷土愛は育まれているか</p> <p>(4) 社会教育と生涯学習について</p> <p>① 自主学習と学習センターについて</p> <p>② 美術・音楽などの文化活動の振興について</p> <p>③ 健康づくりと生涯スポーツ</p>	金田 淳一
6	<p>1 新型コロナワクチン接種について</p> <p>(1) 65歳以上対象における市の接種状況から、接種率と接種完了の日程の目途はどうか</p> <p>(2) 64歳以下の接種スケジュールは定まっているか。優先される基礎疾患の定義と証明などどのように取り扱うか。クラスター発生を抑えるため、高校単位での接種も優先的に行うべき</p> <p>2 新型コロナ対策支援について</p> <p>(1) 老人福祉施設や学校などにウイルス除去装置の整備を求める</p> <p>(2) 新型コロナワクチン接種や世界遺産国内推薦の動向を見据え、8月以降にワクチン接種を2回終了の方への観光誘客キャンペーンを打つべき</p> <p>(3) 事業所のデジタル化推進のための機器購入の支援を求める</p> <p>3 市民要望について</p> <p>(1) 高齢者宅へのごみ収集事業の実施を</p> <p>(2) がん患者のウィッグ購入に助成を</p> <p>4 教育について</p> <p>(1) 市の学力向上並びに幼児教育の在り方について、新教育長の方針を問う</p> <p>(2) (仮称)相川認定こども園の開園を見据え、市の幼児教育の基本理念、実施計画の策定を求める</p>	山田 伸之

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>1 佐渡市の林業政策について</p> <p>(1) 佐渡市森林整備計画の進捗度と今後の見通し</p> <p>(2) 森林経営管理制度の人材確保の現況</p> <p>(3) 木材供給体制の確立と問題点</p> <p>(4) 木材利用促進と普及啓発の在り方</p> <p>(5) 木質バイオマス利用の拡充と拡大</p> <p>2 地域対策について</p> <p>(1) 伝統芸能や祭りの維持・継続 今後行政サービスセンターが地域との関係を強化するとあるが、伝統芸能と行政の関り方について</p> <p>(2) 買い物弱者対策 移動販売などの強化や利便性向上を図る計画はあるのか</p> <p>(3) デマンドバス拡充 お年寄りの孤独・孤立の解消を図り、自由に行動し、また、免許を返上する方のサポートも必要と考えるが、今後バス路線拡大対策を講じる施策は考えているのか</p>	山本 卓
8	<p>1 移住交流推進について</p> <p>(1) 政策の方針（＝大戦略）は何か、その目的は明確化できているか</p> <p>(2) 中期的戦略と戦術はどうするのか、3年程度の継続的計画が必要ではないか</p> <p>① 定量的目標は</p> <p>② 優先取組事項は</p> <p>③ 具体的な実行計画は</p> <p>(3) 移住者拡大のために必要な施策について</p> <p>① 職場（収入）の確保のための施策は何か</p> <p>② 上記に関連して、マルチワーカー制度への取組が必要ではないのか</p> <p>③ 住環境の整備施策は何か</p> <p>④ 生活環境（利便性）の整備はどのように行っていくのか</p> <p>(4) 横串機能はどのように生かされているか</p> <p>① 他部署との連携状況は</p> <p>ア 観光関連事業との連携</p> <p>イ 産業振興関連事業との連携</p> <p>ウ 学校教育との連携</p> <p>② 国・県の補助制度等活用への取組状況はどうか</p> <p>2 企業誘致について</p> <p>(1) 基本とする戦略は何か</p> <p>(2) いつまでに、どのくらいの経済的効果や雇用拡大効果を目指すのか、その定量的目標は</p> <p>(3) ハード整備の効果として、今年度の見込みはどうか</p> <p>① インキュベーションセンターの入居予定について</p> <p>② シェアオフィス等の活用促進策は何か</p> <p>(4) 今後どのような企業誘致を目指していくのか、またその理由とメリットは何か</p> <p>① 企業側や働く人のメリット、ニーズは把握できているか</p> <p>② 佐渡市の「売り」は何にしているのか</p> <p>③ リスクヘッジ体制はできているのか（補助制度の良い所取り防止等はあるのか）</p> <p>④ 既存の島内企業との相乗効果はどのように想定しているのか</p> <p>(5) 国・県の補助制度等活用への取組状況はどうか</p>	林 純一

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>1 経済対策について</p> <p>(1) 経済振興策</p> <p>① プレミアム商品券実施の効果をどのように捉えており、再実施についてはどう判断するか</p> <p>② 公共工事に対する市の考え方について問う</p> <p>③ 佐渡汽船貨物運賃 10%値上げにより、エンドユーザーへの価格転嫁の動きが見受けられる。市の具体的な対応策を問う</p> <p>(2) 観光振興策</p> <p>① プレミアム付き前売り宿泊券事業実施の是非を問う</p> <p>② 世界遺産国内推薦の時期に合わせた「自動車航送運賃 0 円」の事業について、まずは期間限定で実施してはどうか。市長の見解を問う</p> <p>③ 佐渡ロングライド等主カスポーツ事業が中止となり観光業界への影響も大きい。市の対応策（代替策）について問う</p> <p>④ 令和 2 年 12 月定例会の一般質問にて、だっちゃんコインを路線バスで使用できるよう DMO が事業者と協議中であると確認したが、その後の進捗について問う</p> <p>(3) 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備</p> <p>① 構成資産の保存及び活用方法は十分なものと言えるのか</p> <p>② 来訪者急増に対する生活交通への影響緩和策は万全か</p> <p>③ 駐車場不足への対応策はどこまで進んだか</p> <p>④ 遺跡地域と居住地域のゾーニングは完了したか</p> <p>⑤ W i - F i 対応は十分であるか</p> <p>⑥ ガイド育成（外国語対応含む）の進捗と課題について問う</p> <p>⑦ バリアフリー対応の進捗と今後の計画について問う</p> <p>2 市のエネルギー戦略について</p> <p>(1) 市長方針を問う</p> <p>(2) 県の自然エネルギーの島構想の進捗について問う</p> <p>(3) 市のエネルギー関連事業計画の進捗について問う</p> <p>3 医療対策について</p> <p>(1) 症例数が限られ将来のキャリア形成が難しいイメージが根強い医療体制の中で、若手医師が佐渡で働くことの魅力をどう P R できるか、佐渡ならではのキャリア形成をどのようにプランニングし訴求していくことができるのか、今後の策について市長の見解を問う</p> <p>(2) 医師偏在対策の取組として、地域枠・地元枠の拡充を求めるべきではないか</p> <p>(3) 医師の働き方改革について市長の見解を問う</p> <p>(4) 医師の労働負担低減のため、I C T を活用する取組を自治体病院でも実施すべきではないか</p> <p>(5) 十日町市では、生活習慣病予防として遠隔運動療法により生活習慣病の重症化を予防する実証事業に取り組んでいる。本市も I C T を活用した医療課題解決への取組を実施すべきではないか</p> <p>(6) 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会新法人設立の進捗及び新法人に期待される役割について問う</p> <p>(7) 人口減少により高齢者人口も減少フェーズに入ってきており、収益性の高い疾患の数が減少傾向となり収益性の低い疾患の割合が増加してきているが、将来的な両津病院・相川病院の役割及び機能について、市はどのように考えているか</p> <p>(8) 患者の状態に応じて必要な医療を受けられる体制の構築が求められる。島外医療機関との連携について、市の考えを問う</p> <p>(9) 地域全体で患者を支える「地域包括ケアシステム」の現状における課題をどのように捉えているか</p> <p>(10) 看護師緊急確保事業は、当該看護師に対し定住を求めるものであるのか。事業本旨を問う</p>	後藤 勇典

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>4 企業誘致×高校魅力化プロジェクトについて</p> <p>(1) ビジネスコンテスト参加企業の事業進捗について問う</p> <p>(2) ビジネスコンテスト参加企業と島内高校との関りについて問う</p> <p>5 子育てについて</p> <p>(1) 保育園・幼稚園統廃合計画の進捗について問う</p> <p>(2) 令和元年9月定例会一般質問にて、「佐渡子育て親育ち応援ブック」について、かつてのように使いやすく中身の濃いものに戻すことを提案したところ、「情報の出し方、ホームページ等の改定も含め、市で見直してほしいとの要望がある。PDF化については、見て非常にわかりやすいので、検討材料としていきたい」と確認できた。子育て世帯の移住促進など、市の重点施策である定住支援にも関わる重要な改善点だと考えているが、その後の進捗について問う</p> <p>(3) 放課後等デイサービス新設に関する協議の進捗について</p> <p>① 新設に向けた協議について、現状の進捗を問う</p> <p>② 事業者からの要望はどのようなものか</p> <p>③ 市の支援として考えられるものはどういったものか</p>	後藤 勇典
10	<p>1 佐渡航路の安定と充実を望む</p> <p>(1) 「あかね」引退後の小木航路利用人員の推移を尋ねる。また、二次交通へスムーズな乗り継ぎがされているか</p> <p>(2) 小木航路は上越市との橋渡しをする大切な交通手段で小木発早朝便は島民利用には重要なダイヤだった。現在のダイヤは「利用客が少ない」、「小木に船を停泊することができない」という佐渡汽船の会社事情で島民利用客の利便性は考慮されていない運航ダイヤといえる。以前は上越高田城跡公園の観桜会や大型ショッピングモールへの日帰り利用等ができた。少数でも佐渡市民のニーズを優先することが交通インフラとしての基本ではないのか</p> <p>(3) 車社会の現代では小木航路と両津航路は常に機能して自動車でのアクセスを容易にすることが交通インフラとしての使命と考える。それは物流でも同じことが言える。現在のジェットフォイル一隻体制はそういう意味において非常に不便であり理にかなっていない。早急なカーフェリーの導入を望むが、現在のカーフェリー導入状況はどのようになっているのか</p> <p>2 佐渡のエネルギーを考える</p> <p>(1) エネルギー担当係が環境対策課から企画課へ移った理由を尋ねる</p> <p>(2) 県の自然エネルギーの島構想は佐渡市に何を求めているのか、それに対して佐渡市としてどのように対応するのか</p> <p>3 コロナ感染症予防で学校の自動水栓化とともに温水の設備が必要と考える</p> <p>(1) 小中学校でコロナ感染症予防対策の手洗いはどのようになっているのか</p> <p>(2) 感染予防には手洗いの必要性とともに非接触の自動水栓化が必要と考えるが計画されているか</p> <p>(3) 今後感染予防対策としての手洗いは欠かせないと思うが、手洗いを気持ちよく励行するための水温は体温より低めの30度～35度とされているが、学校の手洗いの水温は何度くらいになっているのか</p>	中川 健二
11	<p>1 防災拠点庁舎のボーリング調査結果を問う（地下水位・液状化・基礎工事施工等）</p> <p>2 庁舎周辺の整備について問う</p> <p>3 新保ダム・新保川の防災について問う</p> <p>4 県道両津真野赤泊線を市道豊田101号線に通せないか</p> <p>5 佐渡汽船地下燃料タンクについて問う</p>	山本 健二

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<ol style="list-style-type: none"> 1 指定管理者制度について 2 パートナーシップ宣誓制度の実施について 3 両津地区の防災について 4 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、スマートアイランド計画を策定すべき 5 UIターンと関係人口について <ol style="list-style-type: none"> (1) 現状と課題について (2) コロナ禍での変化について (3) 情報発信について 6 観光について 7 教育について <ol style="list-style-type: none"> (1) 幼児教育にてレジャエミリア教育を実施すべき (2) 小・中学校でのオルタナティブ教育の実施について (3) GIGAスクール構想について 	北 啓
13	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度重点施策（主な取組）の「5.地域づくりの拠点化(市民の力の集結)」について 支所・行政サービスセンター拠点化事業、地域の活力再生事業の状況及び今後の取組方向 2 8月から介護保険負担限度額認定証の認定条件と制度内容が変わり、全国的には介護施設に入所する低所得者への食費等の補助（補足給付）の見直し対象者が約27万人で、影響額は約100億円とされており、コロナ禍の中で深刻である。佐渡市への影響及び市としての対応策が必要ではないか 3 柏崎刈羽原発の再稼働について <ol style="list-style-type: none"> (1) この間、他人がIDカードの情報を書き換えて不正侵入した問題など重大問題が相次いで発覚し、事業者の原発を運転する資格が問われており、県内自治体首長からも厳しい声が上がっているが、市長の見解はどうか (2) 新潟県は、福島原発事故後の2015年12月16日柏崎刈羽原子力発電所で重大事故が起きた場合、柏崎刈羽原発を中心とする100キロメートル四方に放射性物質がどう広がるかを予測した放射性物質の拡散予測を4つのケースで風向きなどを変えた48パターンを試算しているが、佐渡方面については無視されている この間、歴代市長にも言及してきているが、佐渡方面のパターンについても試算させるべきである。見解を求める 4 佐渡航路（佐渡汽船）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 昨年、航路事業者である佐渡汽船の14億円の債務超過に対する行政支援の各自治体の支援割合は、県主導で決められたものだが、最終的な債務超過額は8億7,600万円であり、14億円を大きく下回り当初と大きく変わったことについて、市民への説明責任が必要だが、どのように考えているか。また、情報共有の在り方として問題だが、新潟県や関係自治体とどのような協議がなされているのか (2) 今後急がれる船舶更新（カーフェリー、ジェットfoil、貨物船等）はどうなるのか 5 市立両津病院移転建設について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新潟県地域医療構想との関係はどうなっているか (2) 県内2次医療圏の中で県立病院もなく、県による財政的な支援は、最低限不可欠だが、新潟県の対応はどうか 6 コロナ禍による米価について <ol style="list-style-type: none"> (1) コロナ禍による米の在庫による影響で、このまま放置しておけば、米価暴落になるが、見通しはどうか。また、この米価下落を止めるには、どのような対策が不可欠か (2) 国連では、日本も共同提案国になり、2014年の「国際家族農業年」を延長して2019年から2028年までを「国連家族農業の10年」とすることを第72回の国連総会で決めているが、現在の政権の農政方向は真逆ではないか。市長の見解を求める 	中川直美

順	質 問 事 項	質 問 者
14	<p>◎ 人が人らしく生きられる佐渡を実現するために質問をする</p> <p>1 感染症対策は徹底した予防策で封じ込めを ワクチン接種では対応できない変異株が次々に出てくることは予測の範疇であることから、離島佐渡に感染者が一人も出ないよう、入島者への未然の検査を徹底すべきである。対岸の港でのPCR検査や抗原検査を活用するための補助金制度を創設せよ</p> <p>2 重要土地調査規制法案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今国会において安全保障の名のもと、離島佐渡も含む住民を監視し、国民の権利が大きく損なわれようとするこの法案が、衆議院では13時間という短時間の審議のうちに与党などの賛成多数により強行採決されてしまった <ul style="list-style-type: none"> ① 佐渡市は自治体として意見書を提出したのか ② 市長は、違憲とも指摘されるこの法案にどのような見解をもっているのか <p>3 佐渡市に関わる環境問題の根本的な改善の早急な事業整備を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境問題は公害であり、放置することは、島民はもとより佐渡市の不利益である。今回は特に海洋を汚染しているごみについての対策を求める <ul style="list-style-type: none"> ① 佐渡近海の海洋を汚染しているごみ公害がどのようなものか把握されているか ② 海岸漂着ごみについての場所、量、種類、実害などの調査はされているか ③ ごみが海洋に出されないようにする政策を打ち出してはどうか ④ 行政が漂着するごみの清掃活動の枠を作り、一般市民また来島者とともに産業、生活そして観光のための取組として呼びかけてはどうか <p>4 地域づくりの支所・行政サービスセンターについて</p> <p>3月議会で、伊貝副市長は「地域づくりをシステム的に問題解決ができることが必要だ」と説明されたことはどのくらい進展しているか</p> <p>5 障がい福祉、障がい児福祉を力強く前進させよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 渡辺市長は、3月議会において「障がい福祉政策は非常に重要である」と発言された。これを当事者、また家族、関係者が具体的に実感できるよう頑張ってもらいたい <ul style="list-style-type: none"> ① 身体障がい者と難病患者が減少傾向にある一方、知的障がい者と精神障がい者は人口減少にもかかわらず増加傾向にある。この原因は何か。予防策は何か ② 精神障がい者の通院医療受給者は最も増加の度合いが高い。医療体制は十分に整っているか ③ 障がい福祉人材の確保策はどのような取組をし、その成果が出ているか ④ 障がい児の健やかな育成のための支援は最も重要であるが、その強化は進んでいるか。親への「支援」はもとより「教育」が欠かせない。新たなプログラムを開拓すべきであると考えらるかどうか ⑤ 障がい者が多い佐渡市で、一人でもその人らしく幸せな人生を送るため、障がい者で育児をする人に対する育児支援と親教育が欠かせない。新たなプログラムを開拓すべきであると考えらるかどうか ⑥ 障がいのある当事者の組織作りはどうか ⑦ 当事者の声による事業、政策作りはどうか。24時間の居場所確保はどうか ⑧ 就労継続支援A型の強化、充実はどのくらい図られているか ⑨ 国土強靱化地域計画にある避難行動要支援者は、障がい別に支援計画が立てられているか <p>6 佐渡市教育委員会の首長からの独立性は守られているか</p> <p>市長部局である防災管財課による庁舎内の掲示物規制の下、教育委員会の管轄である教育活動の掲示物規制が判断されている。そして市民活動が制限を受け、顔の見えない佐渡市民社会ができつつある。これは市民感情としても、地方教育行政の法に照らしても全くおかしいのではないか。どうなっているのか市民に分かりやすく説明せよ</p> <p>7 小中学校の教育環境整備と再編計画について</p> <p>意見交換を保護者、地域と行うというスケジュールはどのようになっているのか明確に示せ</p>	荒井眞理

順	質 問 事 項	質 問 者
14	8 先の大戦で亡くなられた全ての方々の犠牲を想い、8月に平和のための追悼集会を開催すべきではないか	荒井眞理
5	<p>1 「このまま人口減少が続くと佐渡はどうなる？」(※1)に対する市長見解及び人口減少、少子高齢化対策を問う</p> <p>(1) 出産祝金制度の給付見直し内容</p> <p>(2) 移住推進策</p> <p>(3) 上下水道料金の低廉化が必要ではないか</p> <p>(4) 空き家の現状と対策</p> <p>(5) 交流人口の拡大策</p> <p>① 佐渡金銀山の世界遺産登録の見通し</p> <p>② LCC東京直行便運航予定の「トキエアの佐渡市へのサポート要請」(※2)に対する市長答弁を求める</p> <p>(6) 安定的な職場の確保</p> <p>① 中小企業及び起業の支援策の内容</p> <p>② 非正規雇用増加の改善策</p> <p>③ 会計年度任用職員の期末手当の支給は2.6か月にすべきではないか</p> <p>④ 市職員の失職の特例を設けるべきではないか</p> <p>⑤ 佐渡製品のブランド化への取組内容</p> <p>⑥ 家族農業と企業型農業の両立のための政策が必要ではないか</p> <p>⑦ 飼料米の早期精算を求めるべきではないか</p> <p>(7) 医師・看護師の確保と、ドクターカーの運用による救命率の向上を図るべきではないか</p> <p>(8) 両津病院と歌代の里の建設計画</p> <p>(9) プライバシーに配慮した防災拠点と、ワンストップ行政サービスが可能な庁舎の建設が急務。庁舎建設の進捗状況と今後のスケジュールを問う</p> <p>2 新型コロナウイルス感染防止と経済対策を問う</p> <p>(1) 再度、宿泊キャンペーンを実施するべきではないか</p> <p>(2) ワクチン接種の状況</p> <p>(3) アフターコロナの課題は何か</p> <p>※1 「このまま人口減少が続くと佐渡はどうなる？」</p> <p>【人口減少時代の論点】公人の友社発行を基に作成</p> <p>人口減少の要因は、出生率の低下と高齢化率の上昇によって出生者数が継続的に死亡者数を下回ることにある。加えて、地方の人口は都市への流出により激しく減少する</p> <p>1 生産人口の減少、労働力不足</p> <p>2 空き家の大量発生</p> <p>3 公共交通が縮減される(船、バス等)</p> <p>4 中小企業、農林漁業等の後継者の確保が困難になる</p> <p>5 正規雇用と非正規雇用では1人当たり平均年収に2.8倍の格差がある。現在、非正規雇用者は全労働者の40%を超えて増加しているが、今後ますます増えていく</p> <p>6 荒廃農地が増えて、周囲の農地へ悪影響を及ぼすとともに、保水機能低下による災害が頻発する</p> <p>7 病院や銀行等の立地が難しくなる</p> <p>8 医療難民、買い物難民が増加し、深刻化する</p> <p>9 老老介護の増加、独居老人の貧困化</p> <p>10 介護職員の不足、介護難民の増加</p> <p>11 限界集落が増えてコミュニティが崩壊する。集落の祭りの消滅</p> <p>12 教育施設の統廃合と部活動の縮小化(近くに通える学校がなくなる)</p> <p>13 税収が減少し、財政が逼迫する</p>	近藤和義

順	質 問 事 項	質 問 者
15	<p>※2 「トキエアの佐渡市へのサポート要請」</p> <p>1 就航におけるサポート</p> <p>(1) トキエア就航に向けた県の支援（2021年6月1日新潟県ペーパー） 事業者と意思疎通を図りながら運航を開始する際には、トキエア安定運航のため、運航経費や利用促進の取組に対する支援を検討していく</p> <p>(2) 新潟日報モア（2021年6月4日） 萩生田光一文部科学相は6月1日に佐渡金山跡を視察したことを受け、課題として交通面を挙げ「(世界遺産に)指定されたときに、どのように多くの皆さんに見ていただくか課題もある」との見方を示した</p> <p>① トキエアは、世界遺産登録における交通インフラとして重要と考える</p> <p>② トキエアは、資金繰りを調整する際に、上記具体的な(1)の内容を必要としている</p> <p>佐渡市としても、具体的な表明を期待するものであり、新潟県をリードするくらいの姿勢を希望する。佐渡から東京直行便実現に向けて、佐渡市が頑張ってもらいたい</p> <p>2 持続性ある（リピーター）観光客誘致のサポート</p> <p>(1) 世界遺産登録は観光客誘致のチャンスにはなるが、重要なのはいかにこのチャンスを生かし、持続性ある（リピーター）観光客を増やすかである 毎年佐渡金山を訪れたいという観光客は少ない。また行ってみたいと思わせる具体的な施策が必要</p> <p>(2) 何がお客様に喜んでもらえるか、時間軸をもって実現する。残された時間は少ない</p> <p>① ホテル</p> <p>② 料理（魚介、野菜、米、果物等）</p> <p>③ 温泉の充実</p> <p>(3) 今までの取組も一定の評価はあるだろうが、結果として観光客は増えていない。その問題点、反省点も含めて早急な取組が不可欠</p> <p>トキエアの業務には需要開拓につながる観光開拓も含んでいる。トキエアは、ただ飛行機を飛ばす会社ではない。トキエアの親会社である TOKI Aviation Capital の民間ノウハウを活用し、もっと踏み込んだ施策が必要。早急にプロジェクトチームを作り、対応していくべきであり、佐渡市はそのサポートを強力に推進することが重要と考える</p> <p>TOKI Aviation Capital は佐渡汽船との連携も想定し、提案している。交通インフラと宿泊施設、料理、温泉の連携が必要。佐渡の観光客受入姿勢、何が喜ばれるか、佐渡島民側の常識ではなく、外からの観光客の思いを正確にとらえ、施策を立て実施することが必要と考える</p>	近藤和義